

令和8年度「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」

(一社)全国建設業協会主催

広報功労者表彰受賞 事例発表より

地元就職促進の取組み (交流会の創意工夫と成果)について

令和8年7月22日 経団連会館2階 国際会議場

(一社)青森県建設業協会 東青支部

【はじめに】

青森県建設業協会東青支部では、地元就職促進のため平成30年より「若者との交流会」を開催しましたが、地元工業高校の**県内就職率は3割で推移**し、成果は表れていませんでした。

参加校は高校4校、技術専門校、県内工業大学、保護者も参加しその場で内定もあるなど一定の地元就職はあったものの、県外流出の傾向に変わりはない状況でした。

H30. 6



親も参加、その場で内定も



R1. 6



“地元就職促進” キーワードは「**学校との連携**」←「高卒採用 まず親から射よ」

- ① **保護者参加を促すため 土日に実施したいが**(部活遠征や働き方改革で) 学校の実績が難しい。
- ② **工業高校以外に参加を呼び掛けるが**(普通科、農業土木、大学等) 実績ないからと 参加少ない。

【参加校の実績】

H30. 6. 16(土)・・・青工 49+保護者 10、五農 2、山田 4、北 2、商業 1、技専校 5、八工大 7 計 80 名

R 1. 6. 5(土)・・・青工 31+保護者 5、五農 5、山田 1、技専校 6、八工大 8(他高校 0、青大 0) 計 56 名

R 4. 11. 18(金)・・・青工 62、技専校 6 (五農 0、山田 0、他高校 0、八工大 0、公立大 0) 計 68 名

R 5. 9. 15(金)・・・青工 97 (1～2 年)、技専校 10、八工大 4 (五農 0、公立大 0) 計 111 名

R 6. 10. 11(金)・・・青工 66 (2 年)、技専校 10、(五農 0、八工大 0、公立大 0) 計 76 名

R 7. 9. 12(金)・・・青工 47 (2 年)、技専校(青森 8+弘前 5)、(商業 0、五農 0、八工大 0、公立大 0) 計 60 名

(令和 2～3 年) コロナ禍で開催がない時は新たに「**企業紹介集**」や「**建設業者ガイドブック**」を作成、各学校ほか県・市の東京事務所等へ配布するなど情報発信に努めた。

内容には給与・福利等の情報は入れず「ものづくりの魅力」の視点でまとめた。

(令和4年～) 3Kの印象払拭・建設業イメージアップに向けた取組第一弾として若手の会員が集まり各社独自のデザインを企画・作成、“**作業服おしゃれ一新**”。
会員皆が企画に携わったことで、横の繋がりができたことも成果の一つ。



交流会 再開 各社企画の服こだわりをプレゼン、参加者から盛んに拍手浴び大盛況に
(作業服お披露目 3Kの印象払拭)

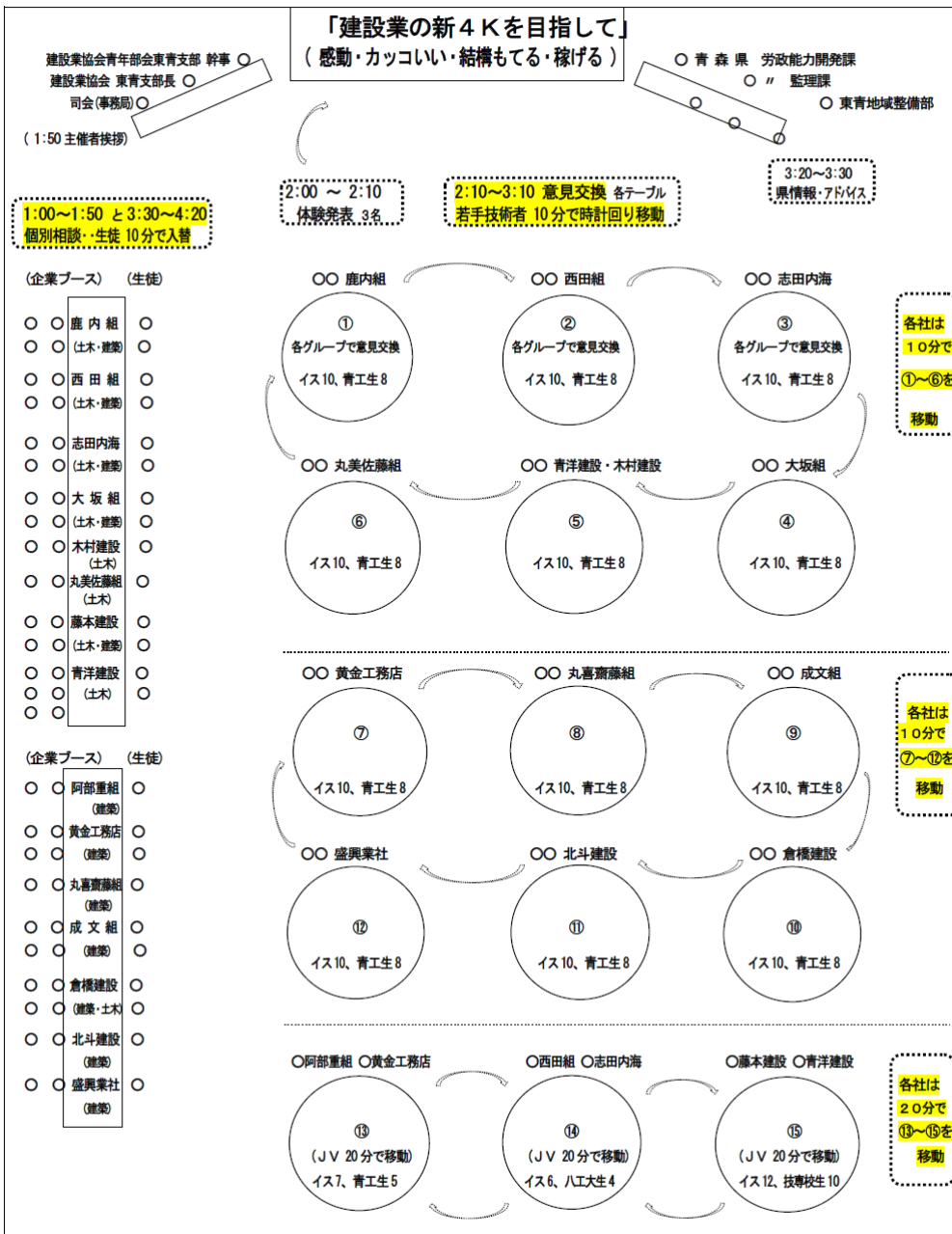


(若手技術者が 各テーブル周り意見交換)



R 5 地元建設業と高校等との交流会 席図

R 5. 9. 15 1:00~4:20 ホテル青森3F 孔雀



交流会開催から7年経ても県内就職は3～4割なのでアンケートを基に再検討し学校とも協議しながら、若者に関心あるテーマを取り上げて行うことにしました。

- ・「建設業に必要な資格紹介コーナー」
- ・「建設業の未来・夢語りコーナー」
- ・「匠の技を道具で披露:車座トーク」
- ・「建設女子 本音トーク」

ほとんど全員が満足した楽しかった、ものづくりの魅力を味わった、技術者説明の熱意に感動した、友人と一緒に聴き対話し自分の将来像も見えてきたなど。

新4K(感動・希望・稼げる・カッコいい)を目指して

建設業協会青年部会東青支部 幹事 ○
建設業協会 東青支部長 ○
司会(事務局) ○ pc M2

2:00 主催者挨拶

ステージ

2:05~2:20 体験発表(中堅技術者 各3分)
先輩アドバイス(技専校ほか 各2分)

県 若者定着推進応援課 ○
県 監理課 ○
東青 県土整備事務所 ○
〃 ○
2:20~2:30 県情報・アドバイス
(各2分)

A

企業個別相談コーナー

PM 1~4時 (1人1社 15分以内)

(2時から 30分は 挨拶等のため中断)

(企業ブース) (生徒ほか)

○	鹿内組	○
	(土木・建築)	○
○	丸美佐藤組	
	(土木)	
○	木村建設	
	(土木)	
○	志田内海	
	(土木・建築)	
○	大坂組	
	(土木・建築)	
○	藤本建設	
	(土木・建築)	
○	西田組	
	(土木・建築)	
○	青洋建設	
	(土木)	
○	細川産業	
	(土木)	

個別
相
談
コ
ー
ナ
ー
一
人
15
分
で
移
動
を

(企業ブース) (生徒ほか)
(建築)

○	阿部重組	○
		○
○	盛興業社	
		○
		○
○	黄金工務店	○
		○
○	北斗建設	○
		○
○	倉橋建設	○
	(建築・土木)	○
○	丸喜富藤組	○
		○
○	成文組	○
		○

※ 挨拶～体験発表～県情報までの時間(2:00~2:30)は BかCの席に着席願います

B

- ① 資格紹介コーナー 1:15~1:55
- ② 建設業の未来・夢語りコーナー 3:20~4:00

衝立

資料 テーブル

講師 pc

ホワイトボード

スクリーン

C

スペシャルトーク コーナー

- ① スペシャリスト トーク 1:00~1:30 3:30~4:00
- ② 建設女子の本音トーク 2:30~3:30

衝立

① 匠の技 スペシャルトーク (スペシャリストに必要なスキルは?)

(社名衝立)◎ [] ホワイトボード[] ◎ (社名衝立)

② 建設女子の本音トーク (建設業が大好き! 希望の生の声がきけます)

2:30~3:30

パネリスト

(建設業の未来夢語りコーナー)



(資格紹介コーナー)



(匠の技 車座トーク)・・・若手技術者が匠の技を各種道具で披露



(建設女子 本音トーク)・・・職場環境、仕事と子育ての両立など本音トーク



参考1 【Uターン対策:首都圏大学生との交流会】(R5～)

R7東京で実施 次第 →

東京の大学生との交流会は参加者集めが難しく
青森県 東京学生寮の学生に頼っているのが現状。

→ 県を通じ「首都圏連携協定大学への周知」と
「青森暮らしサポートセンター」(交通会館:ふるさと
回帰支援センター内)に案内周知の依頼をしている。

首都圏大学生等との交流会 R7.9.26 11:30
都道府県会館 501 会議室

次 第

- 1 挨拶 青森県建設業協会 会長 (東青支部長) 鹿内雄二
" 青年部会 (東青支部幹事) 佐藤善一
- 2 自己紹介 ・「企業紹介:ものづくりの魅力と若者へのメッセージ」
- 3 情報提供 ・移住アンケート、あおもリターン、移住支援制度
・東京との収支比較、働き暮らしやすさ、魅力度ランキング
・協会HP (概要、イベントほか 東青支部 活動記録)
- 4 講話 県東京事務所長 山館清章 氏
講話:「若者を惹きつけるしごとづくり」
- 5 意見交換 (フリートーキング)

参考2 【親子見学会(小中学生参加)】 駒込ダム7年後完成に向け建設 地元とJV



※ 高校生との現場研修会は担い手確保対策の一番の土台なので、毎年欠かさず実施。

【卒業生へ配布】

(地元工業高校を通じて 卒業生全員へ配布)

(1枚目)

～ 卒業生の皆様へ ～

青森県建設業協会 東青支部

// 青年部会

ご卒業おめでとうございます。協会から「建設業の魅力と役割」などお話しさせて頂きたいと思います。

1 【建設業の魅力】

- ・自分の作ったものが形として残り、なにより多くの人にそれを利用して頂ける、という点ではないでしょうか。多くの人の目に入り、利用して頂ける 形に残る仕事というものは建設業固有のものだと思います。
- ・「この建物、この道路 私が作ったんだ」と家族・親戚・友人に自慢できる仕事はカッコいいと思いませんか。
- ・「貴方が作った橋のおかげで通勤時間がすごく短くなり助かった」と親友から感謝され、とても嬉しかった、とのコメントも！
- ・そして職場で、次はこういうもの作りたい、ああいうもの作りたいと夢に描きながら仕事できるのも「建設業の魅力」だと思います。

2 【建設業の役割】

- ・災害発生時に被害者にとって最も大事なものは、速やかな応急対策と復旧工事です。私ども建設業者は、地域の安全安心のため誰より早く現場に向かい、迅速な対応をします。
災害がない普段でも、定期的に道路、河川等のパトロールを行っています。
地域貢献への想いは人一番あります。
- ・地域を守っているのは警察官や消防士だけではありません。「皆が安心して暮らしているのは我々建設業の人達の結集によるもの！」
人のために尽くす、やりがいを感じる仕事です。

3 【県外就職される皆様へ】

将来青森に帰ってきたいと思った時、次の内容をどこか頭の片隅に置いて下さい

次頁 「あなたの経験を青森で活かしてみませんか！」 (添付 協会員名簿)

※ 協会HP「東青支部 活動記録」に掲載

あなたの経験を 青森で活かしてみませんか！

青森県と東京圏の収支差額はほぼ一緒 !?

収入が多い東京圏での生活の方が余裕があると思いませんか？
実は収入と支出のバランスは青森県とほとんど変わらないんです。
収入だけで比較するのではなく、自分の将来の暮らしや家計についてシミュレーションしてみましょう。 【単身世帯(30歳未満)の収支差額(月額)】

収入	支出	収支差額
青森県	青森県	青森県
223,893円	144,148円	約8万円
東京圏	東京圏	東京圏
269,145円	189,460円	約8万円
※ 可処分所得(手取り収入)	※ 消費支出合計	

出典:総務省「令和6年全国家計構造調査」単身世帯の1ヶ月あたりの収支比較

【県内で働き暮らしていく魅力】

◇通勤時間が短い(全国8位) 青森県 往復61分 < 神奈川県 往復100分

→ 平均往復時間・総務省「令和3年社会生活基本計画」

◇家賃が安い(全国1位) 青森県 2,066円 < 東京都 5,954円

→ 一畳当りの家賃・総務省「令和5年住宅・土地統計調査」

◇住宅地が安い(全国2位) 青森県 16,200円 < 東京都 430,600円

→ 住宅地1㎡当り平均価格・国土交通省「R6都道府県地価調査」

◇待機児童数ゼロ(全国1位) 青森県0人 < 全国平均41人 < 東京都346人

→ こども家庭庁 待機児童数 集約表 令和6年4月

◇認定こども園多い(全国1位) 青森県66.7箇所 < 全国平均16.7箇所

→ 0～5歳人口1万人当り こども園認可認定件数 総務省 社会生活統計指標 2024

(創意工夫の成果 ?)

今年3月卒業生の県内外就職の割合は、県内就職 6割 (8年前の倍)となりました。
一時的な事なのか注視していましたが、来年3月卒業 (現3年生) の就職希望者も、
県内就職希望が 約6割の見込み とのことでした。

これまでの取組の成果が表れてきた気はしますが、今後の推移を注視して下記の課題に取組み、学校とも連携しながら交流会の内容をさらに充実して参ります。

(課題)

- ① 学校とのさらなる連携(土日開催で保護者参加へ。農業高校、普通高校への働き掛け)
- ② // (企業の学校への早期訪問)
- ③ 協会各支部と課題を共有し各地で開催したい。
- ④ Uターン対策として、大学生との交流会(R5より実施)の参加者を増やしたい。

ご清聴ありがとうございました

(一社) 青森県建設業協会 東青支部